



2024年6月期（第66期） 株式会社構造計画研究所 決算説明会資料

2024.09.20

1. 決算の概要

2. セグメント別の業績状況

3. 2025年6月期 連結業績予想

4. 持株会社への移行

【本資料についてのご注意】

- 本資料の記載金額は原則、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- 本資料に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般に(株)構造計画研究所ならびに各社の商標または登録商標です。

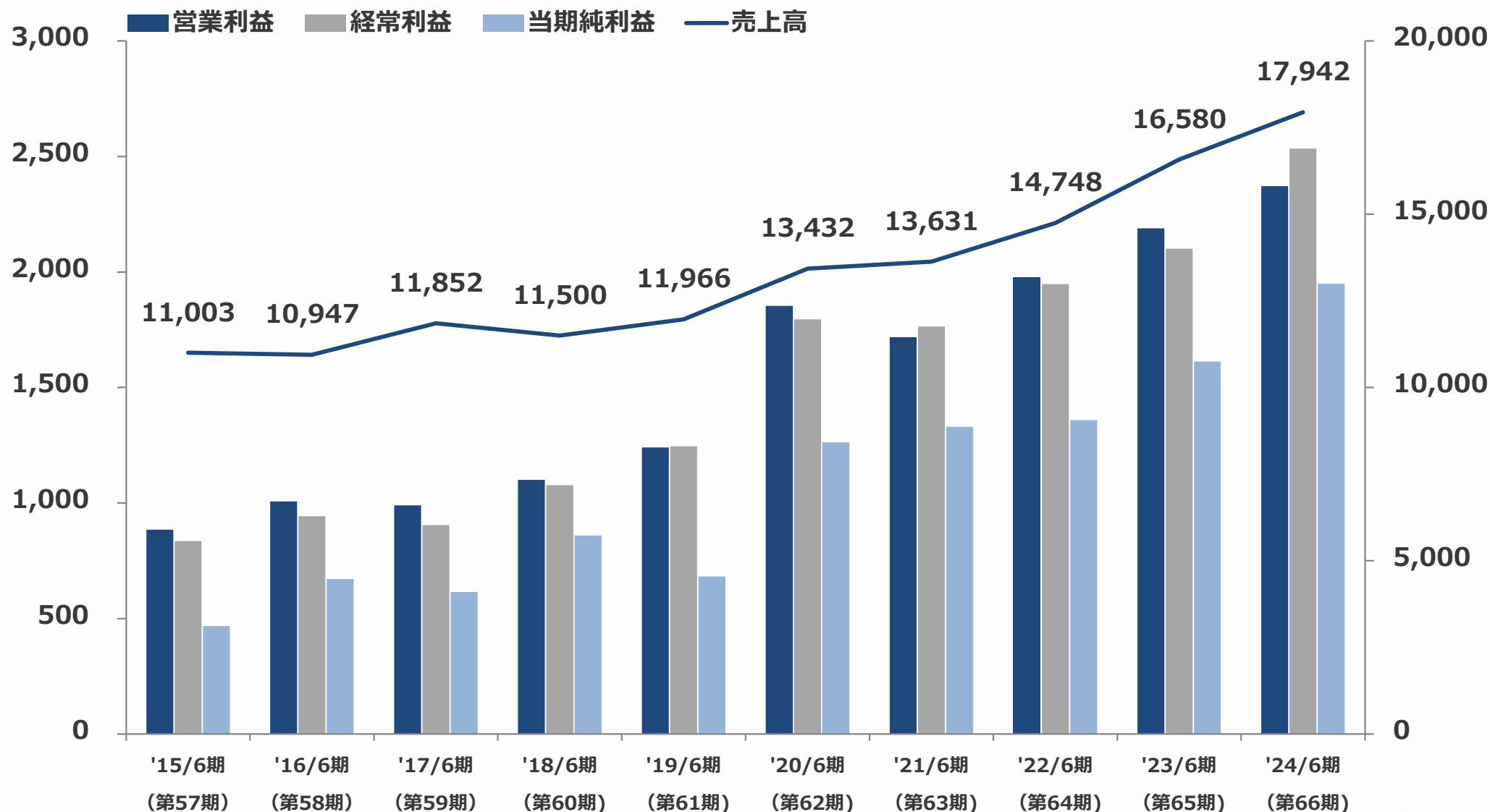
1 決算の概要



	'23/6期 (第65期)	'24/6期 (第66期)	増減	増減割合
売上高	16,580	17,942	1,361	8.2%
売上原価	8,048	8,620	572	7.1%
売上総利益 (利益率)	8,532 (51.5%)	9,322 (52.0%)	789	9.3%
販売費及び一般管理費	6,342	6,949	606	9.6%
営業利益 (利益率)	2,189 (13.2%)	2,372 (13.2%)	182	8.3%
営業外損益	△88	161	250	—
経常利益 (利益率)	2,101 (12.7%)	2,534 (14.1%)	432	20.6%
特別損益	△25	0	26	—
税引前当期純利益	2,075	2,534	458	22.1%
法人税等	462	585	122	26.5%
当期純利益 (利益率)	1,613 (9.7%)	1,949 (10.9%)	336	20.8%

利益（単位：百万円）

売上（単位：百万円）



貸借対照表

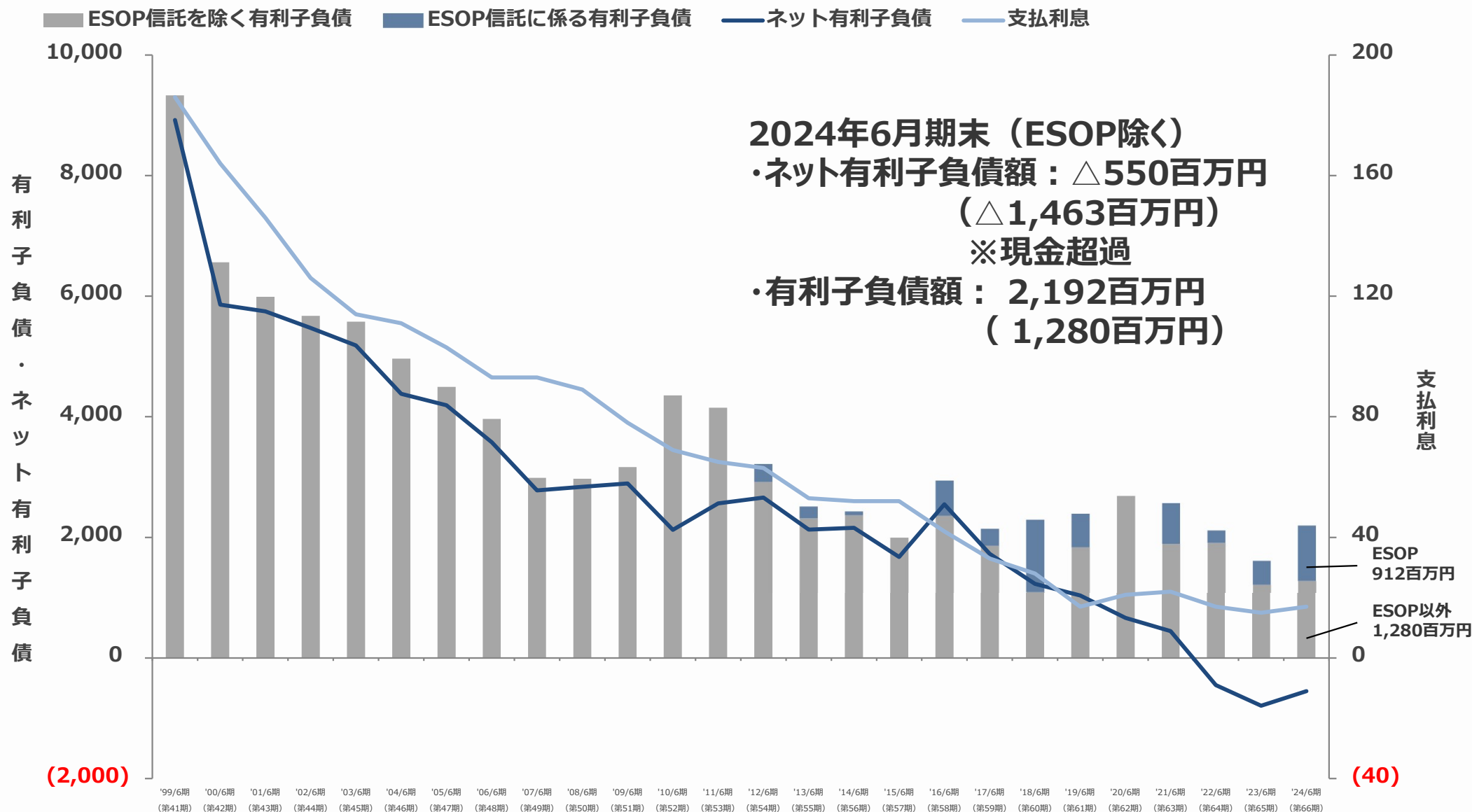
科目	'23/6期末 (第65期)	'24/6期末 (第66期)	増減額	科目	'23/6期末 (第65期)	'24/6期末 (第66期)	増減額
現金及び預金	2,399	2,743	343	短期借入金	—	—	—
受取手形・売掛金 ・契約資産	2,780	3,108	328	1年内返済予定の 長期借入金・社債	958	580	△378
仕掛品	22	39	16	前受金	1,197	1,555	358
その他	1,751	2,479	728	未払費用	1,750	1,929	178
				その他	1,791	1,737	△53
【流動資産】	6,954	8,370	1,415	【流動負債】	5,697	5,802	104
有形固定資産	5,427	5,649	222	長期借入金	650	1,612	962
無形固定資産	378	364	△13	退職給付引当金	2,316	2,357	41
投資その他の資産	5,547	6,345	797	その他	342	427	85
投資有価証券	2,777	2,884	106	【固定負債】	3,308	4,397	1,088
関係会社株式	1,109	1,723	614	【負債の部】	9,006	10,199	1,193
関係会社出資金	56	57	0	資本金	1,010	1,010	—
繰延税金資産	1,177	1,237	59	資本剰余金	1,353	1,367	14
その他	425	441	16	利益剰余金	7,121	8,142	1,020
【固定資産】	11,353	12,359	1,006	自己株式	△613	△507	106
				その他有価証券 評価差額金	430	517	86
				【純資産の部】	9,301	10,529	1,228
【資産の部】	18,307	20,729	2,421	【負債及び 純資産の部】	18,307	20,729	2,421

※自己資本比率：'23/6期末 50.8%、'24/6期末 50.8%

※ESOP取込の影響：'23/6期末 流動資産その他に38百万円、自己株式に410百万円、1年内長期借入金に393百万円が含まれる
：'24/6期末 流動資産その他に612百万円、自己株式に358百万円、長期借入金に912百万円が含まれる

【参考】ネット有利子負債の推移

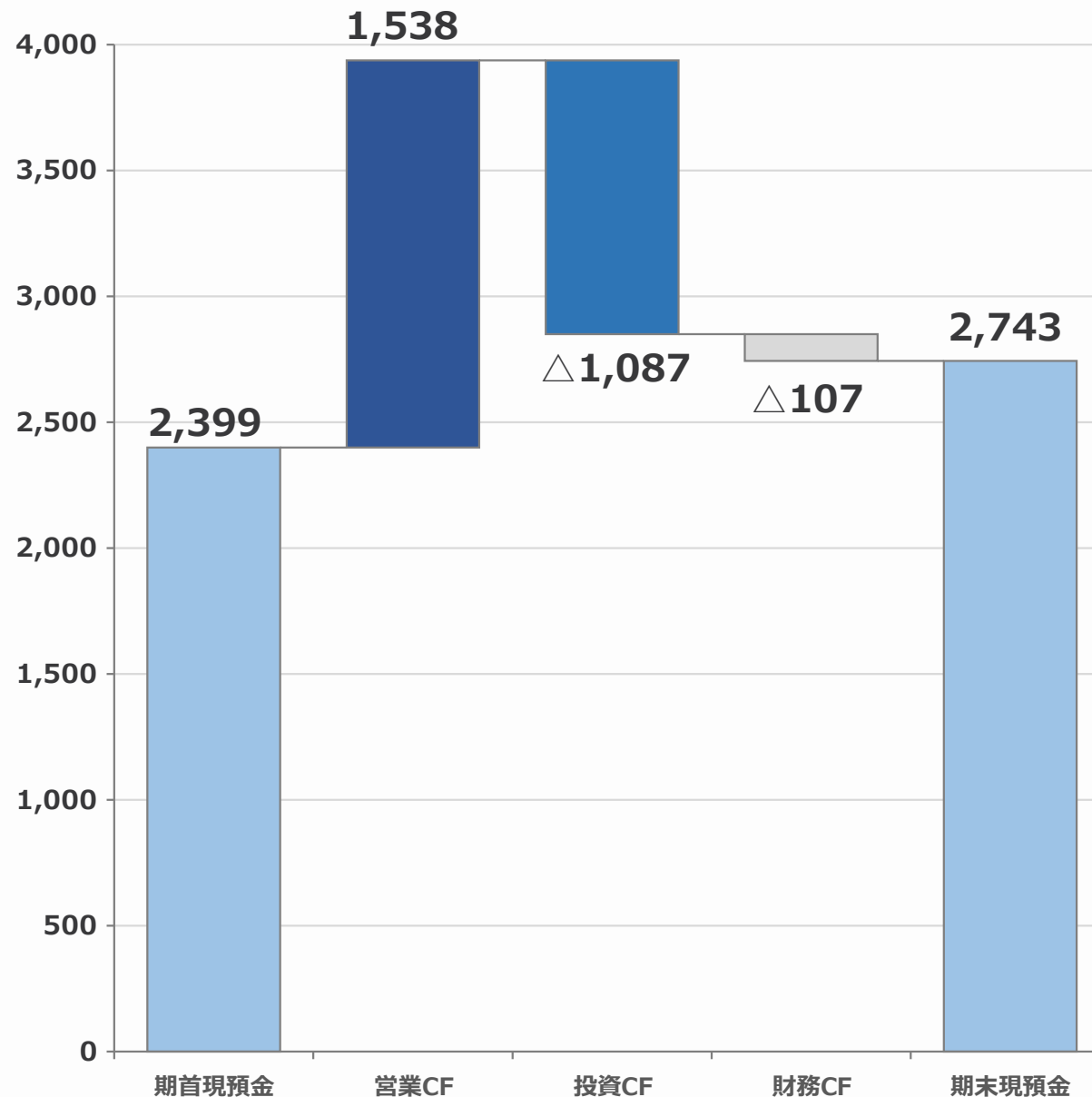
(単位：百万円)



(単位：百万円)

	'23/6期 (第65期)	'24/6期 (第66期)	増減額
期首現預金残高	2,560	2,399	△160
営業活動CF	1,797	1,538	△258
投資活動CF	△865	△1,087	△222
フリーCF	932	450	△481
財務活動CF	△1,092	△107	985
期末現預金残高	2,399	2,743	343

(単位：百万円)



【営業CFの内訳】

・ 税引前当期純利益	2,534
・ 減価償却費	316
・ 退職給付引当金の増加	41
・ 株式報酬引当金の増加	60
・ 売上債権の増加	△ 327
・ 棚卸資産の増加	△ 18
・ 前払費用の増加	△ 234
・ 仕入債務の減少	△ 44
・ 未払金の減少	△ 150
・ 未払費用の増加	178
・ 法人税等の支払額	△ 592

【投資CFの内訳】

・ 投資有価証券の取得	△ 10
・ 関連会社株式の取得	△ 614
・ 有形固定資産の取得	△ 307
・ 無形固定資産の取得	△ 123
・ 保証金の増加による支出	△ 29

【財務CFの内訳】

・ 長期借入金の純増	634
・ 自己株式取得	△ 444
・ 自己株式処分	685
・ 配当金支払	△ 924

2

セグメント別の業績状況



□ 構造設計・構造解析コンサルティング

特殊建築物の構造解析、風車基礎・タワーの構造設計

□ 環境評価・防災コンサルティング

地震動評価、風況解析、災害リスク評価

□ 住宅・建設分野のシステム開発

CAD・BIM・構造計算を含むシステム開発

□ 意思決定支援コンサルティング

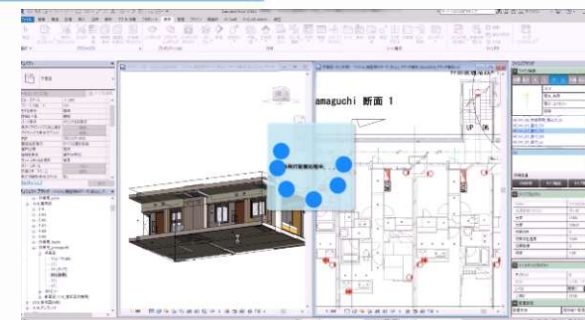
社会シミュレーション、最適化

□ 情報通信技術コンサルティング

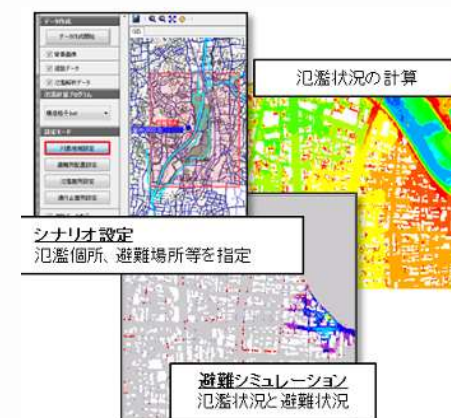
通信ネットワーク・電波伝搬・電磁界シミュレーション

□ 製造業向けデータ活用・コンサルティング

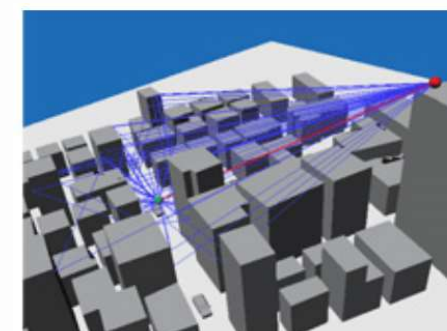
CAEによる設計の効率化、生産技術の最適化



設計の自動化(自動配置)



避難シミュレーション

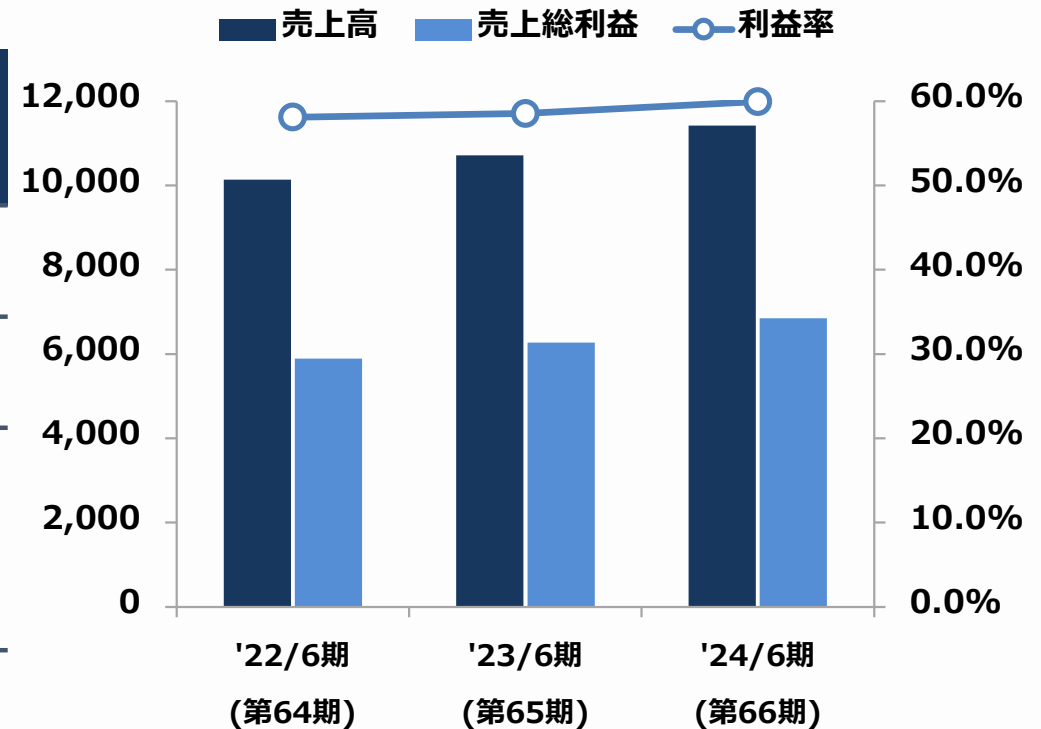


電波伝搬解析

セグメント別概要 (エンジニアリングコンサルティング 過年度推移)

(単位：百万円)

	'22/6期 (第64期)	'23/6期 (第65期)	'24/6期 (第66期)	対前年同期 増減額
受注高	10,315	10,772	11,674	901
売上高	10,141	10,714	11,419	705
売上総利益	5,893	6,273	6,846	573
(利益率)	(58.1%)	(58.5%)	(60.0%)	
受注残高	5,212	5,269	5,524	254



分析

- 当事業年度においては、前事業年度末から繰り越された案件及び今期獲得した受注案件を着実に遂行したことで、前事業年度を上回る売上高、利益となる
- 過去から蓄積された豊富な経験知を活用した付加価値の高い案件を、品質の確保に留意しながら遂行し、高い利益率を維持

市場区分

製造業関連

CAE、熱流体解析、
粒子法、粉体解析、
営業支援ソリューション
等

建築・土木関連

建築構造物解析、
地盤解析等

情報通信関連

電波伝搬解析等

その他・業界横断

社会シミュレーション、
リスク評価、クラウド
型入退室管理プラット
フォーム他

パッケージ販売型の例



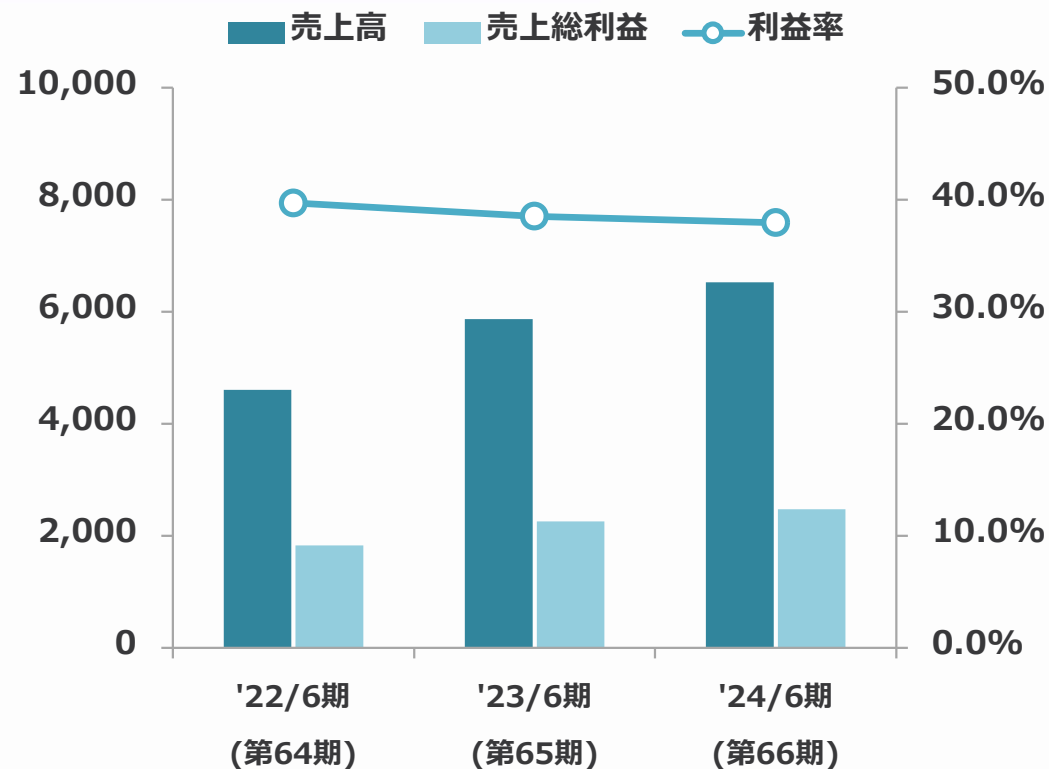
クラウドサービス提供型の例



セグメント別概要 (プロダクツサービス 過年度推移)

(単位：百万円)

	'22/6期 (第64期)	'23/6期 (第65期)	'24/6期 (第66期)	対前年同期 増減額
受注高	5,044	6,132	6,887	754
売上高	4,607	5,866	6,522	656
売上総利益	1,829	2,259	2,475	215
(利益率)	(39.7%)	(38.5%)	(37.9%)	
受注残高	1,659	1,926	2,291	365

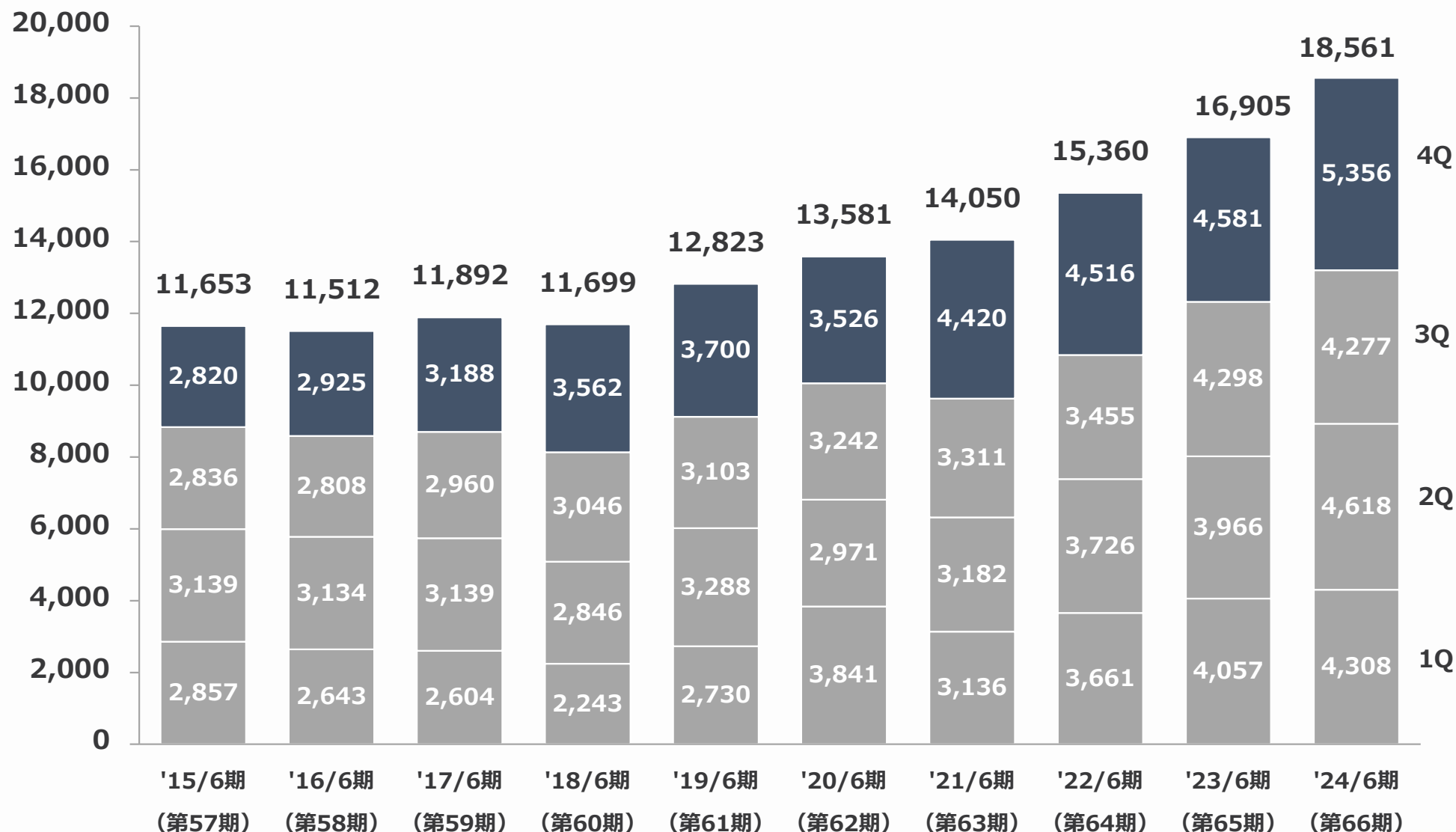


分析

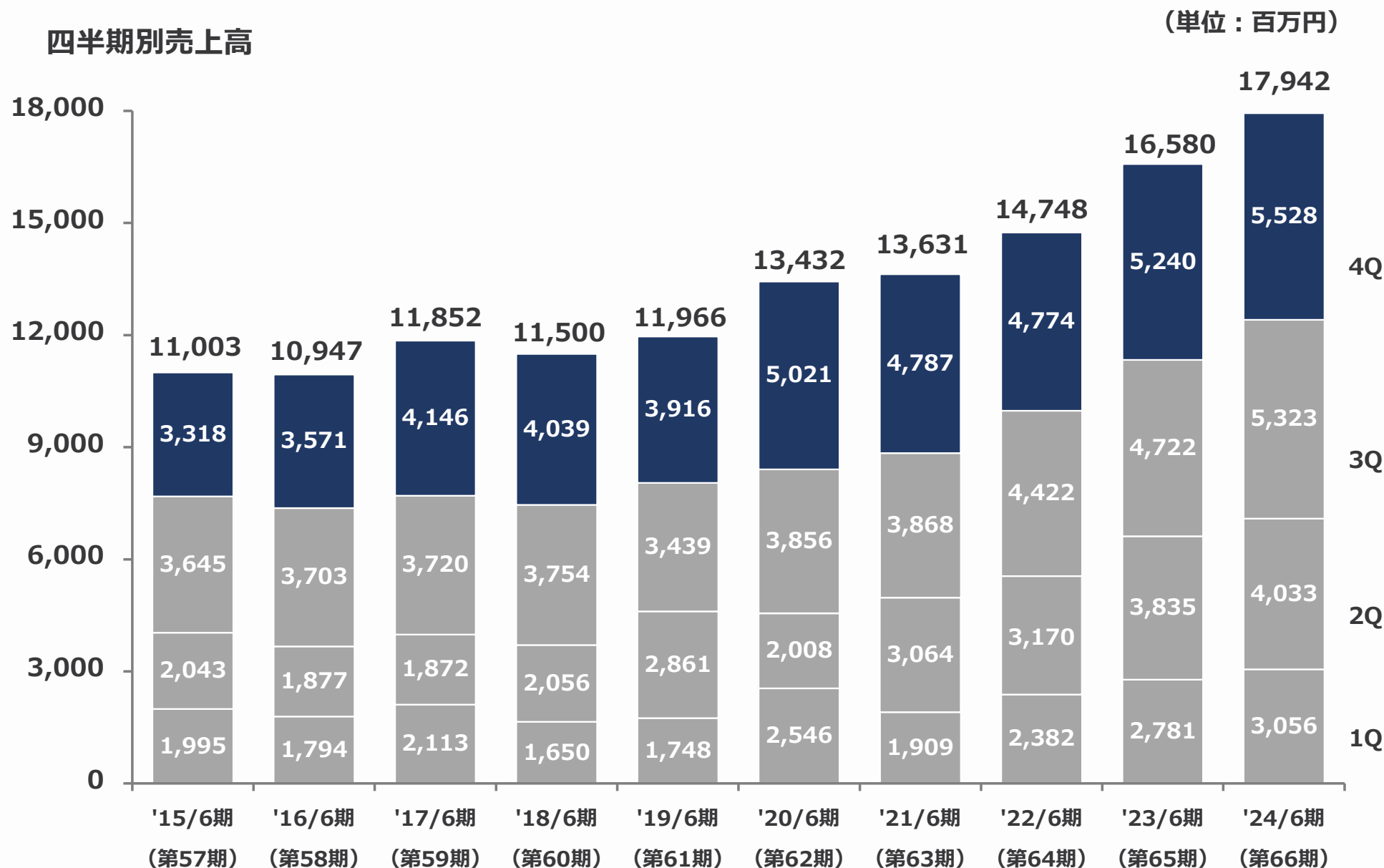
- クラウドサービス提供型ビジネスが、計画通り20%を超える成長率で進捗し、全社売上に占める割合は18%に
- クラウド型入退室管理システム（RemoteLOCK）は、チェックインや予約等のシステムと連携することで顧客や市場に適した多様な提案を行い、宿泊市場や地方自治体への導入が進み、地方自治体の導入数は100を超過。またマイナンバーカードに対応するサービス提供開始に向けた開発も行う
- 現場3D化の加速を支援するNavVisは、新製品の投入の効果が下半期より表れ、順調に推移

四半期別受注高

(単位：百万円)

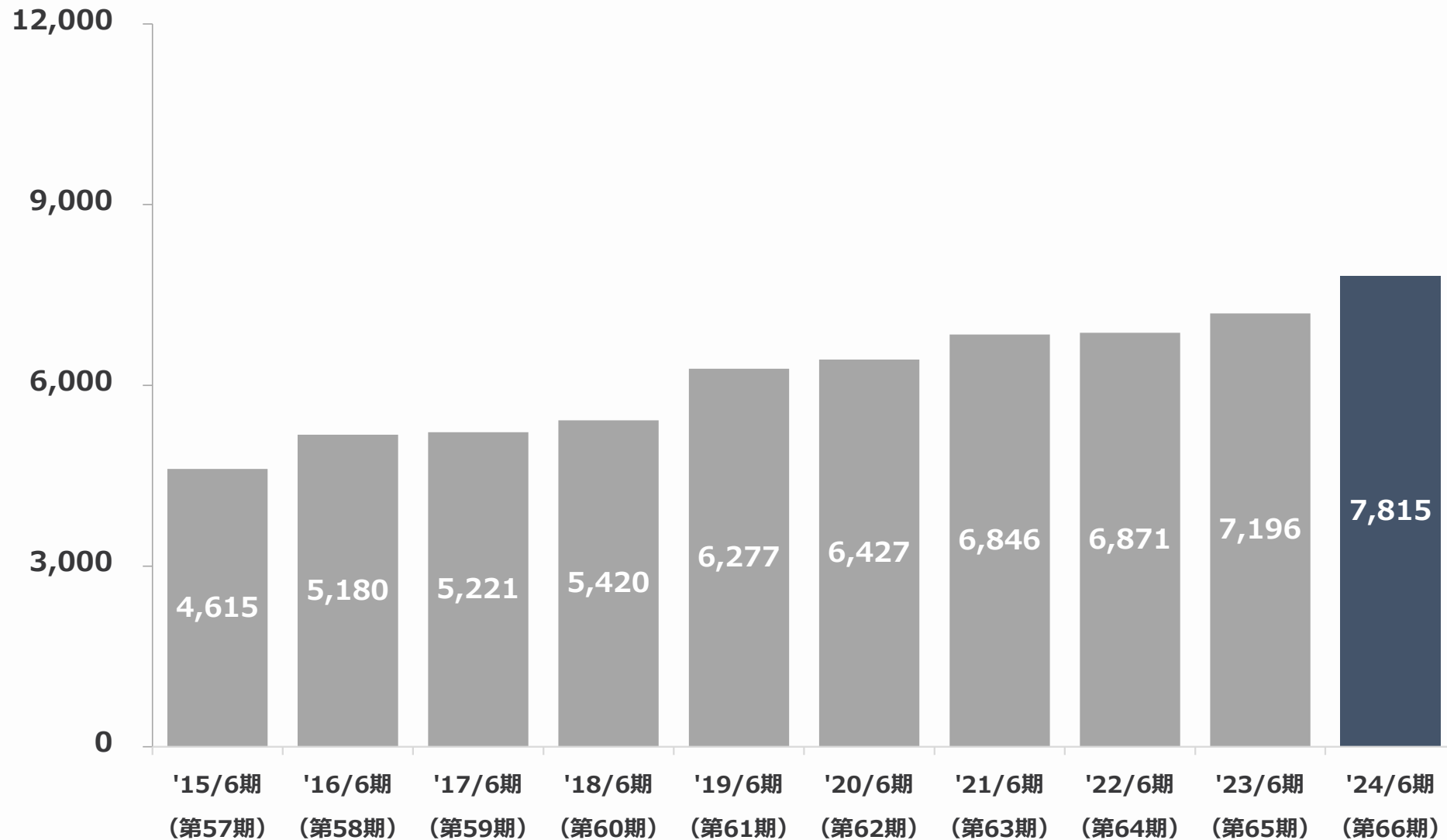


四半期別売上高の推移

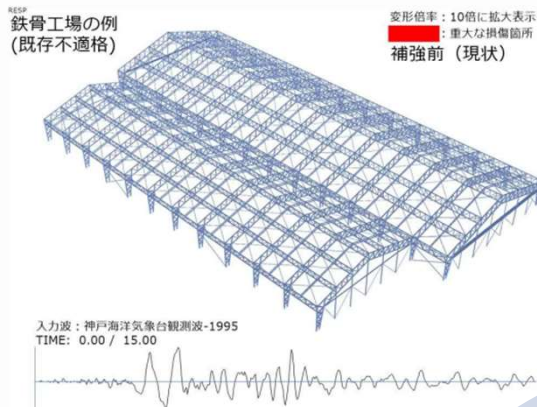


受注残

(単位：百万円)



耐震改修促進法で定められた画一的・非効率な耐震補強ではなく、 コンピュータ・シミュレーションを活用して現実的な地震対策を提案



設計・監理

法規等の考慮と施主の意図をくんだ施工管理

耐震性能

どの程度の揺れに耐えられるか？

地盤の揺れやすさ

地盤の影響で揺れが大きくなるか？

シナリオ地震

対象地点周辺で考慮すべき震源はどれか？

背景

- 南海トラフ地震などへの備え、サプライチェーンも含めた事業継続
- BCPの策定状況
 - ・大企業 76.4%、中堅企業 45.5%が「BCPを策定済」
 - ・業種別では金融・保険業が76.6%に対し、製造業は58.3%

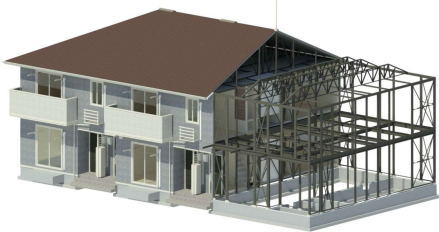
内閣府 令和5年度 企業の事業継続及び防災の取組に関する実態調査

- 施主の悩み
 - 「工場の操業を止めずに耐震補強工事を進められないか」
 - 「施設内で補強できる箇所が限定される中で
取り得る最善プランと投資対効果を示してもらえないか」

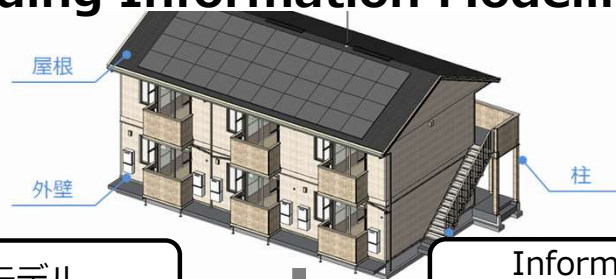
建設業に携わるあらゆるステークホルダーに対しBIMを中心とした業務 変革を支援

- 建築知と工学知に基づいた業務改革デザイン
- エンジニアリングによるBIMシステムの実装

戸建・低層集合



BIM (Building Information Modeling)



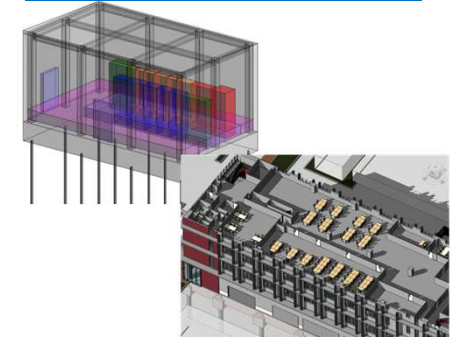
3Dモデル



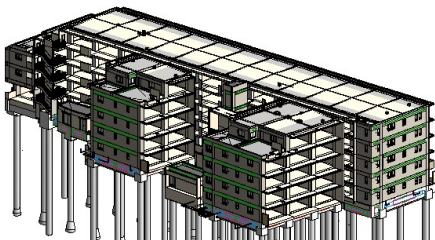
Information
(建物情報)

※BIM (Building Information Modeling) とは
= 3次元モデルに建築属性情報を付与したデジタル基盤。意匠、構造、設備などの専門家と発注者、利用者などの建築に精通していない人の世界共通言語とも言えるデジタル基盤

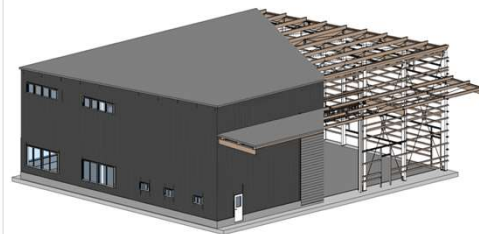
インフラ (道路・鉄道)



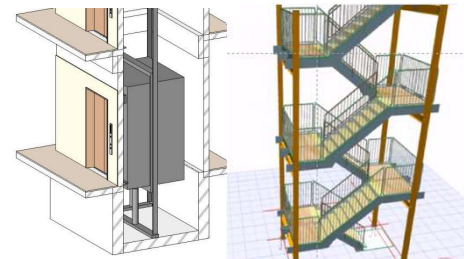
集合住宅



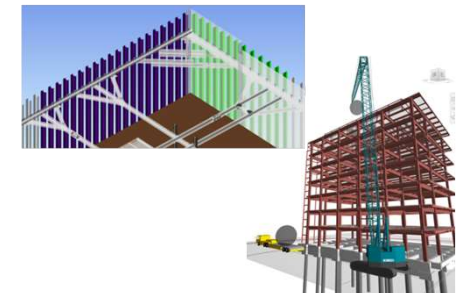
倉庫・工場



昇降機・階段

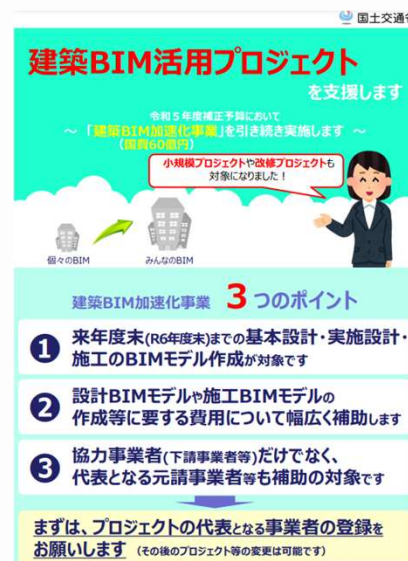
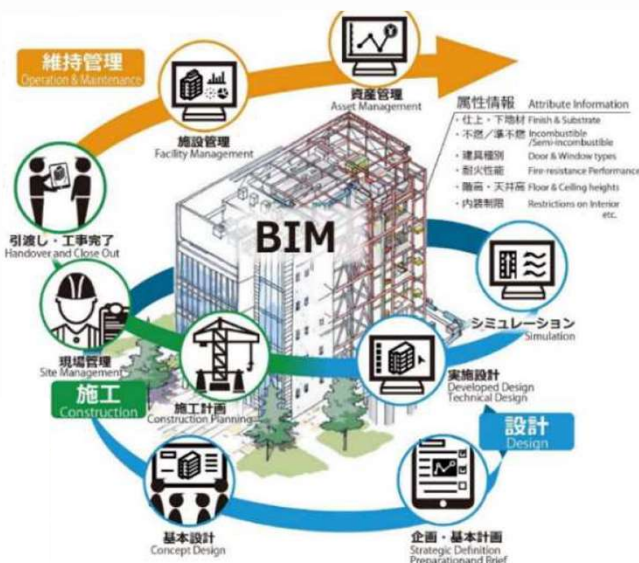


仮設資材・重機



背景

- 建設技能者（ゼネコン技術者、職人）の大量離職、高齢化
 - デジタル技術活用による生産性・建物の品質向上を推進
 - 国土交通省によるBIM利活用の推進・制度化
- ➡ゼネコンを始めとした建設業のステークホルダーのBIM対応が加速



BIM加速化事業

令和4年度予算：80億円

令和5年度予算：60億円

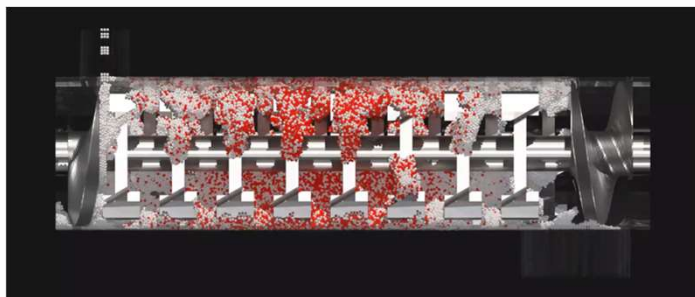
出典：国土交通省建築BIM加速化事業について
https://r5-6bim-shien.jp/wp-content/uploads/2024/01/R5-6_bim_kasokuka.pdf

- 日本初のCAE技術者集団として培った技術力と経験で、CAEを活用した技術コンサルティングを実施
- 1980年より製造業の設計者向けCAEソフトウェアの販売を開始し1400社以上のお客様にソフトウェアを導入

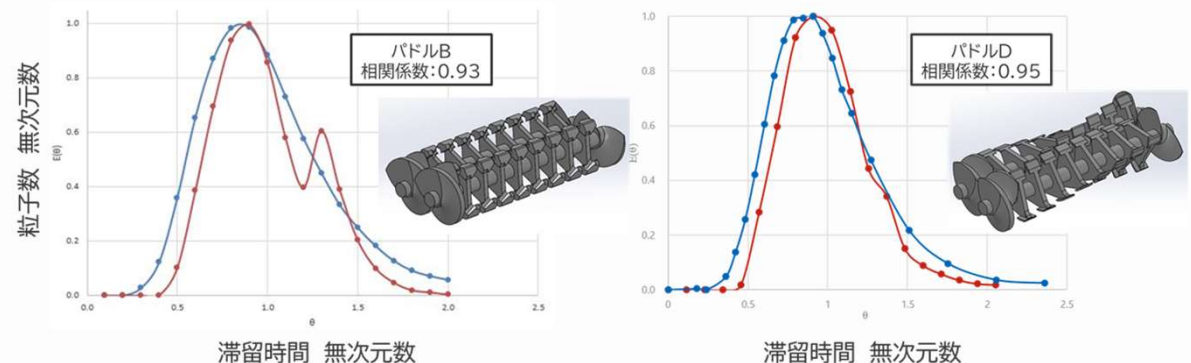
*CAE:コンピュータ上で製品の設計や製造、工程設計をシミュレーションし、事前検証する解析技術。対象物にかかる力や、対象物の温度をコンピュータ上で可視化し、製品の品質や性能の検証を行う。



東京大学の酒井幹夫准教授監修のもと、構造計画研究所（KKE）が開発した粉体シミュレーション



二軸混練機評価 機内の様子



高精度なシミュレーション

背景

- 製造業で進むデジタル化により、CAEの活用範囲が拡大
- 環境に配慮したものづくりが求められる中、
 - ✓ 効率の良い製造工程を構築し、廃棄される原料を削減
 - ✓ 実験回数の削減による無駄なコストを削減
- 複雑化する機械やシステムの設計において、安全性、耐久性の高度な計算の必要性増
- グローバル競争環境の中で、市場投入までの時間短縮と開発コストの削減がより重要

世間の潮流と当社の技術_ より賢慮に満ちた未来社会の構築に向けて

社会と共に目指す未来像“Thought”

Innovating for a Wise Future

“『工学知』をベースにした有益な技術を
社会に普及させることで、
より賢慮に満ちた未来社会を
ステークホルダーの皆様と共に創出していきたい”



創業者 服部正

<https://www.kke-hd.co.jp/>

“社会のいかなる問題にも対処できるよう
総合的なバラエティに富んだ専門家を集めた
工学を生業とした組織を作りたい”

	決定額
基準日	2024年6月30日
1株当たり配当金	普通配当：50円 特別配当：20円 合計配当：70円
配当金の総額	875百万円
効力発生日	2024年9月11日
配当原資	利益剰余金
配当性向	43.9%

3 2025年6月期 連結業績予想

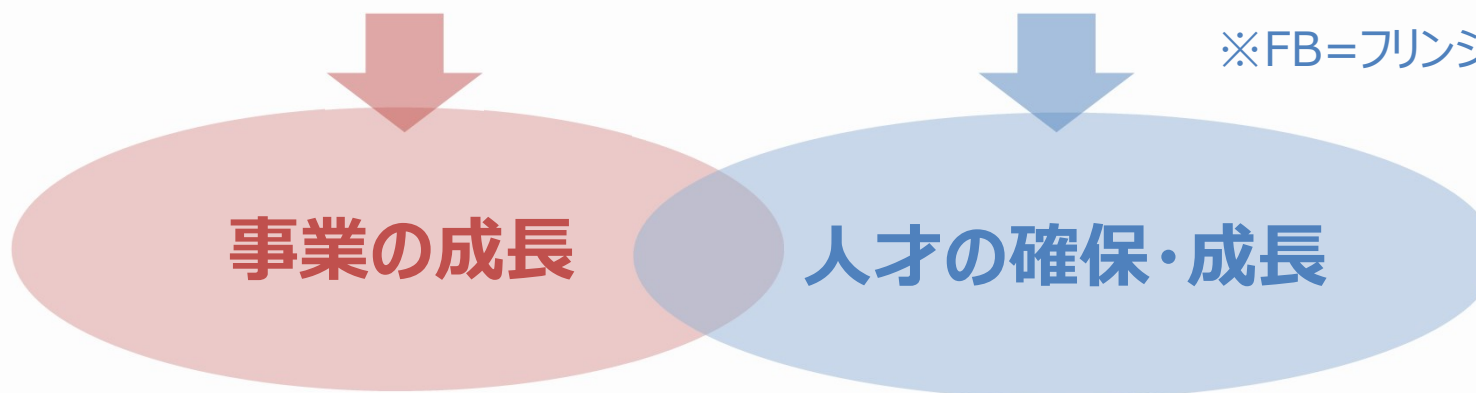


当社グループの持続的な発展には、
より良い人才が集い、成長していくことが重要

当社の経営指標

総付加価値 = 営業利益 + 人件費 + 福利厚生費(FB※)

※FB=フリンジベネフィット



中長期的に5%～7%の年間成長を経営目標とする

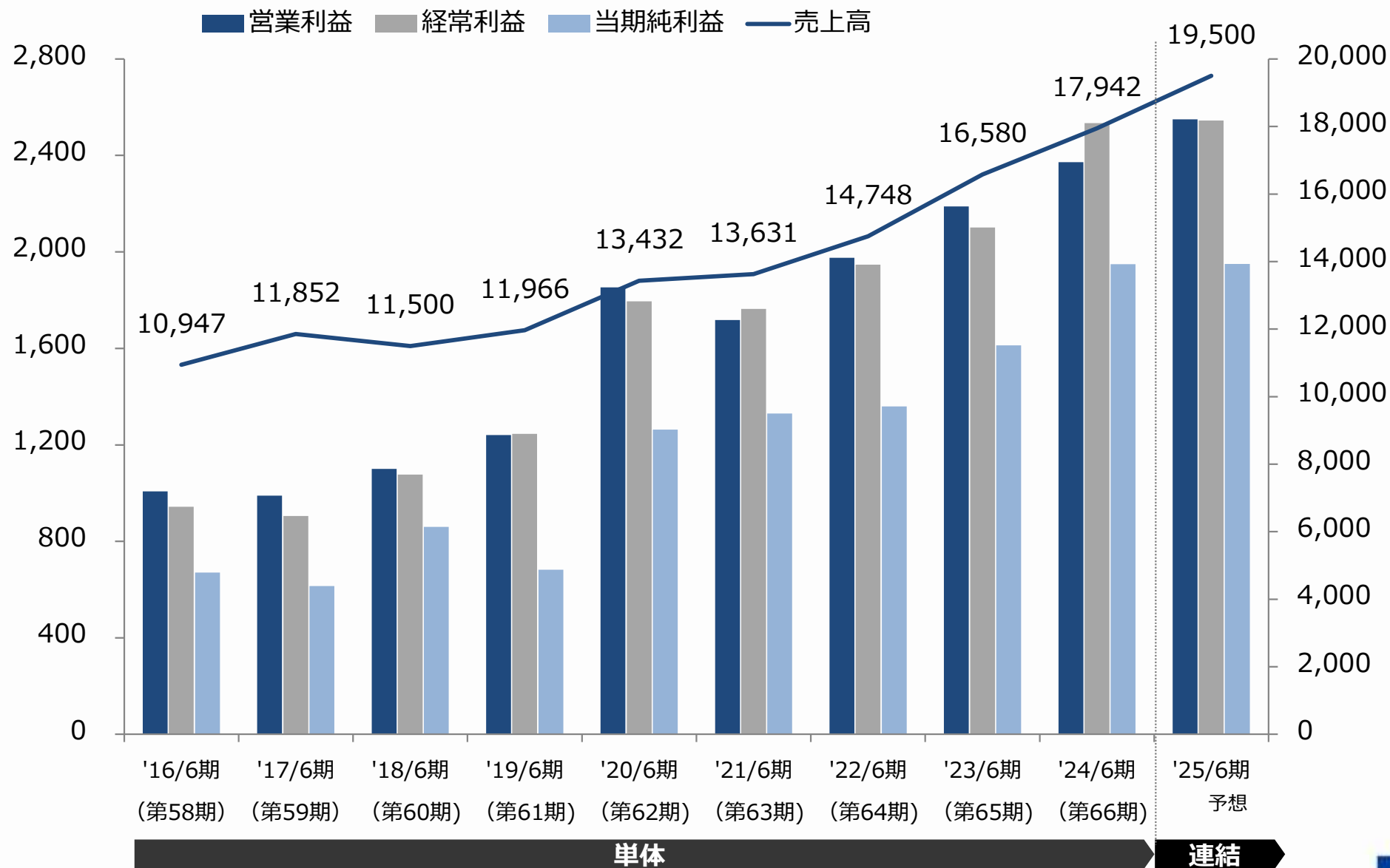
(単位：百万円)

	'24年6月期 (単体)	'25年6月期 (連結) 予想	増減額	増減割合
売上高	17,942	19,500	1,558	8.7%
営業利益	2,372	2,550	178	7.5%
経常利益	2,534	2,545	11	0.4%
当期純利益	1,949	1,950	1	0.1%

過去の業績推移と業績予想

利益（単位：百万円）

売上高（単位：百万円）

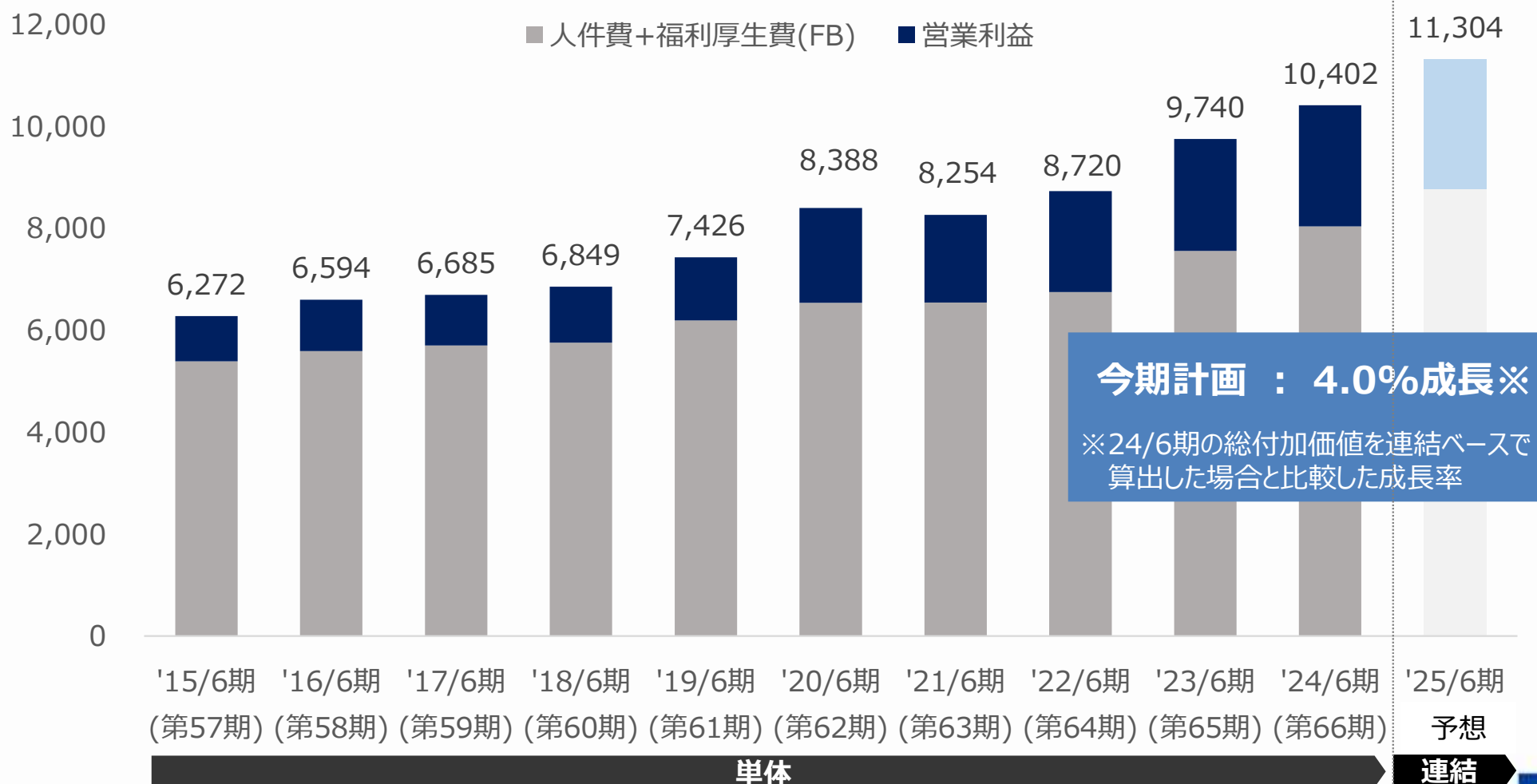


過去10年間の総付加価値推移

■ 人件費＋福利厚生費
＝ 人才の確保・成長

■ 営業利益
＝ 事業の成長

単位：百万円



利益還元の基本方針

- ・ 経営基盤の強化及び将来の事業展開に備えて内部留保を勘案しつつ、
- ・ 株式の長期保有を目指した継続的かつ安定的な配当

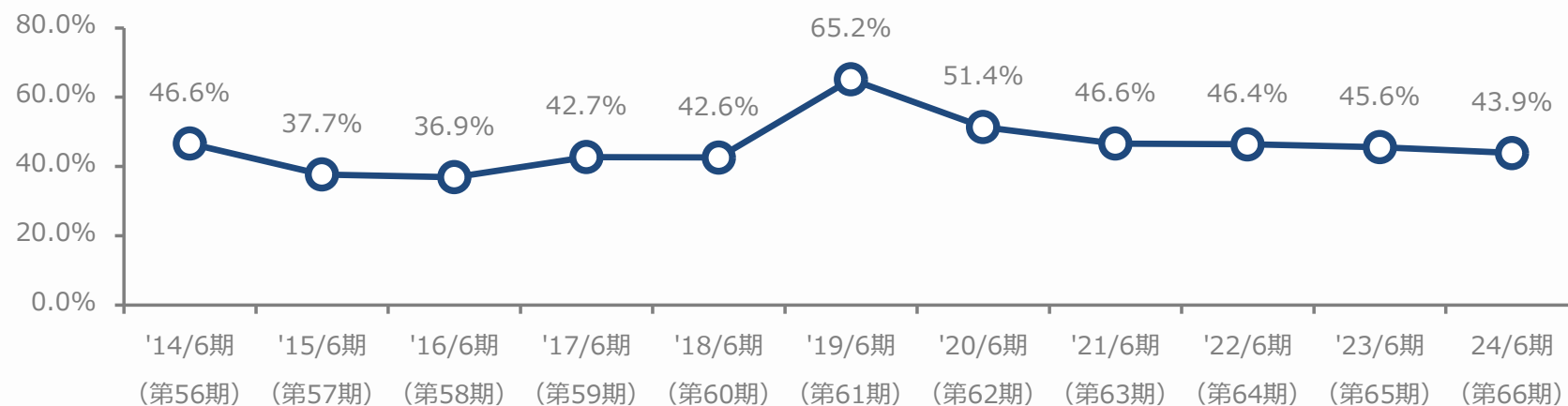
目標の目安	配当性向	50%
	DOE (株主資本配当率)	8%

算式： $DOE = \frac{1株当たり配当額}{1株当たり純資産額}$

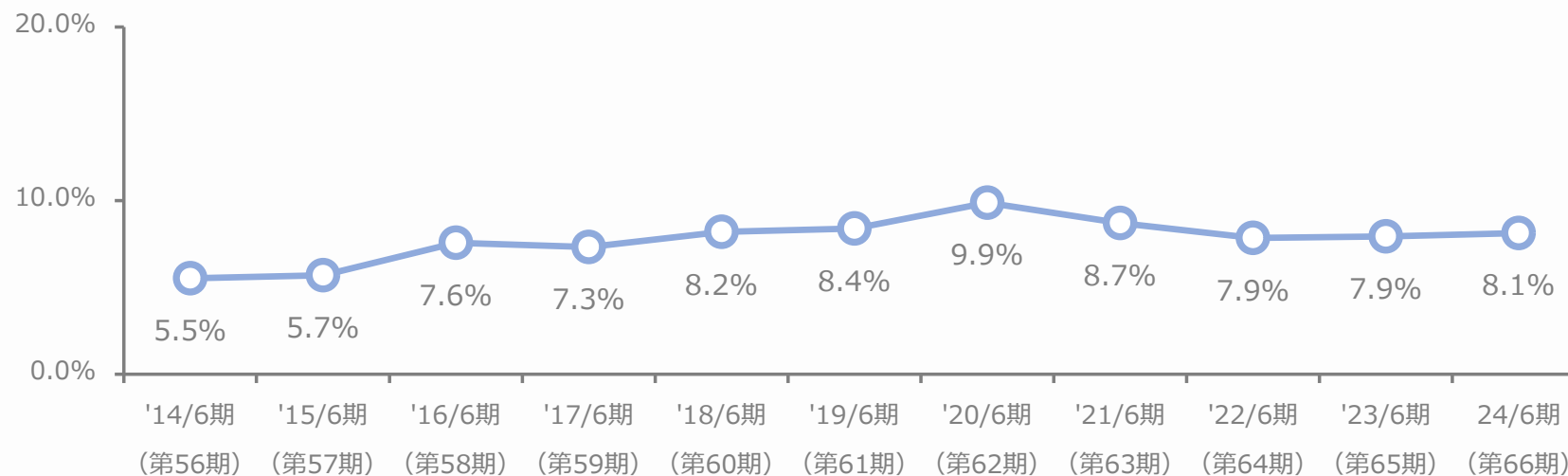
今期配当予想

160円

配当性向



DOE



4 持株会社への移行



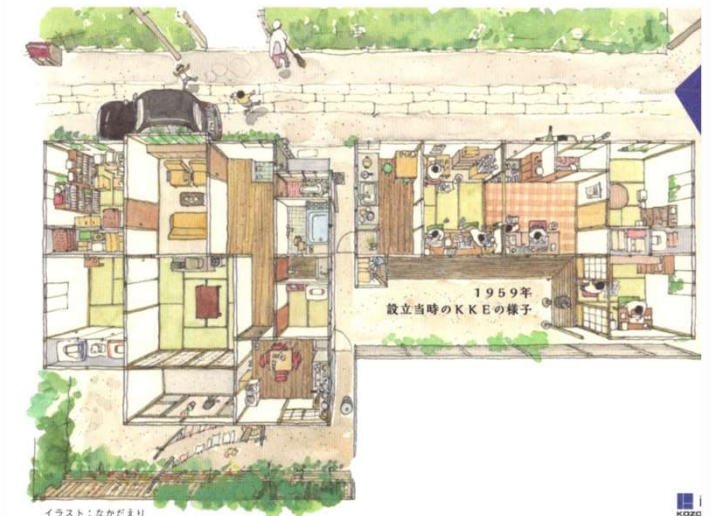
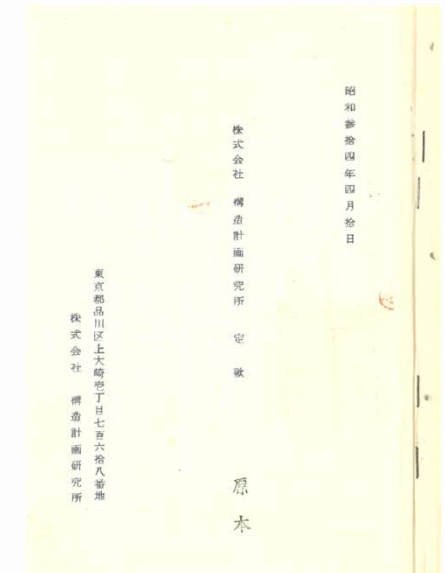
東京工業大学大岡山から至近の目黒駅徒歩圏内 自宅兼事務所

地理院地図
GSI Maps

※国土地理院発行の地図に目印を追記



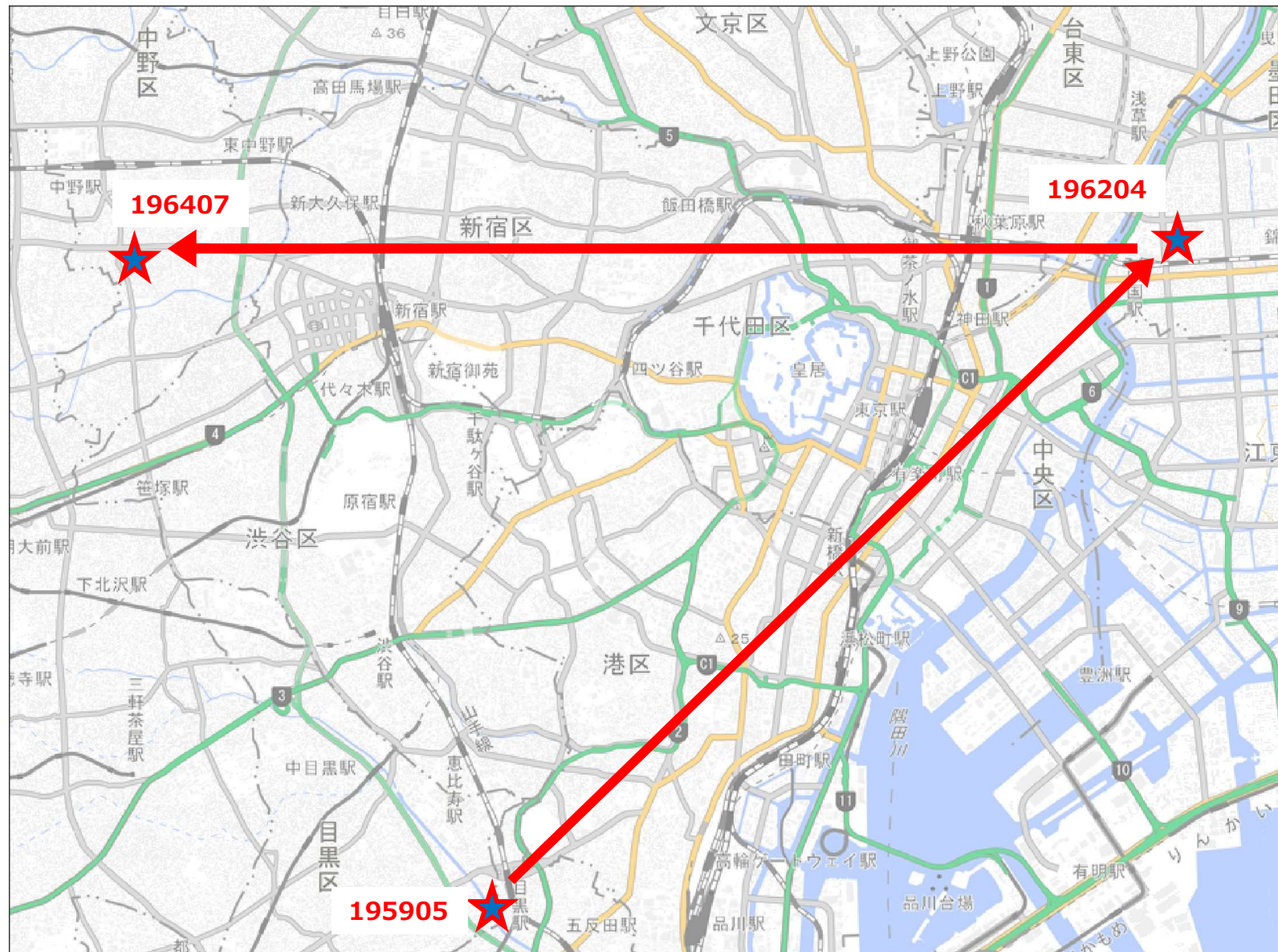
- 1956.6.6 服部正構造設計事務所設立 (構造設計専業)
- 1959.5.6 株式会社設立 資本金100万円
- 1961 IBM1620 導入
- 1968 外部投資家の資本参加 & 金融機関からの借入
- 1969 米国サンフランシスコ事務所開設
- 1971 日本ミニコンピュータ設立
- 1983.1.29 創業者急死 (享年56歳)
- 1983.5 熊本テクノポリス構想賛同
熊本進出
日本興業銀行融資 1986年新社屋
- 2000.3.23 株式公開 (店頭登録銘柄)



品川区上大崎 ⇒ 台東区浅草橋 ⇒ 中野区西町 (現本町4丁目)

地理院地図
GSI Maps

※国土地理院発行の地図に目印を追記



1968年2社の投資家と融資： 南悠商社様と麹町不動産様 大和銀行様

南悠商社 （菊池寛実氏 1885年～1967年）

戦前の石炭王 日本の三大富豪の一人

三代目当主 菊池節氏

京葉瓦斯会長、パウダーテック社長、京成電鉄社外取締役、
オリエンタルランド社外取締役

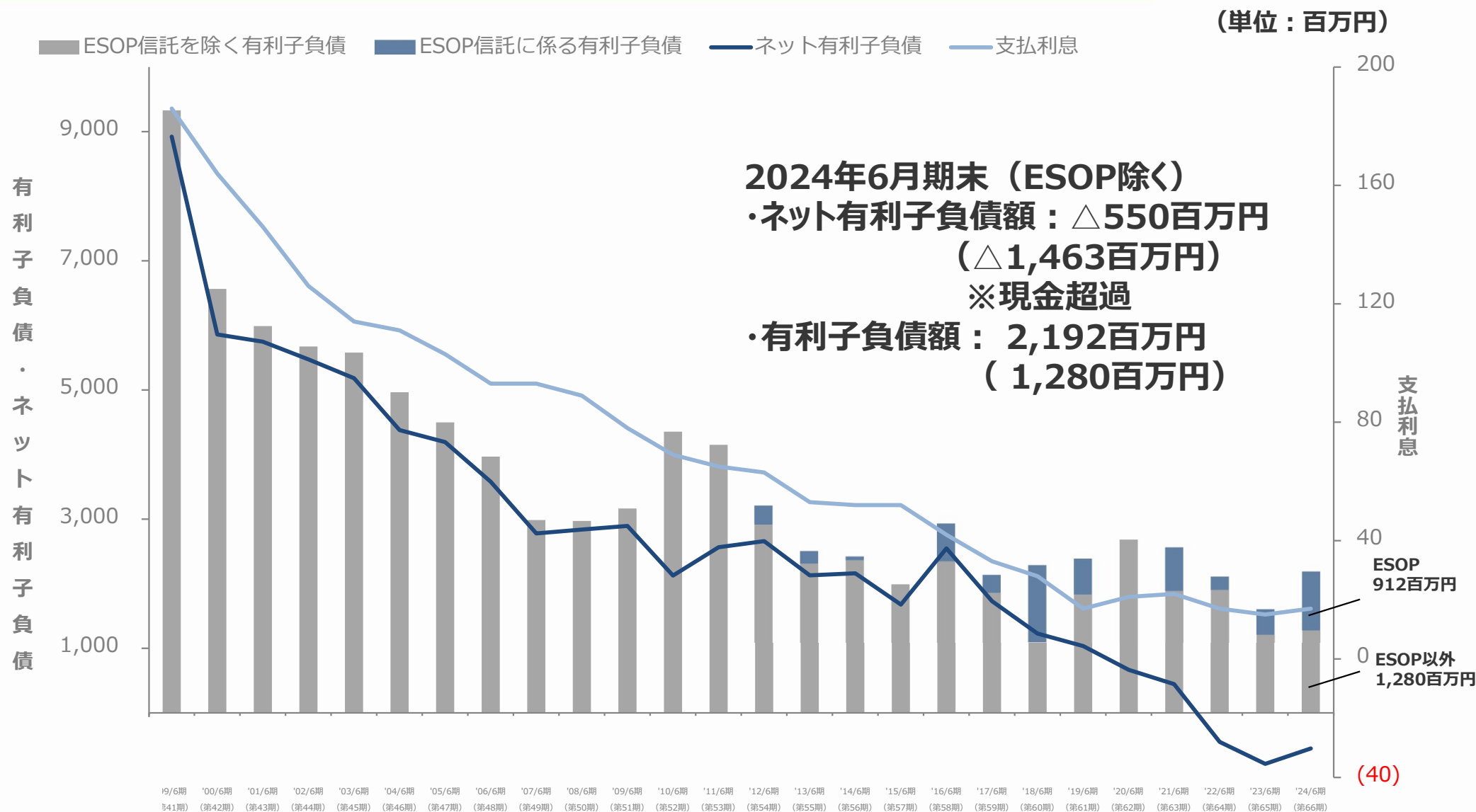
菊池寛実記念 智美術館主宰（神谷町 ホテルオークラ東京隣接）

麹町不動産 （不二サッシ:佐野友二氏 1910年～1987年）

戦後設立の住宅サッシメーカー

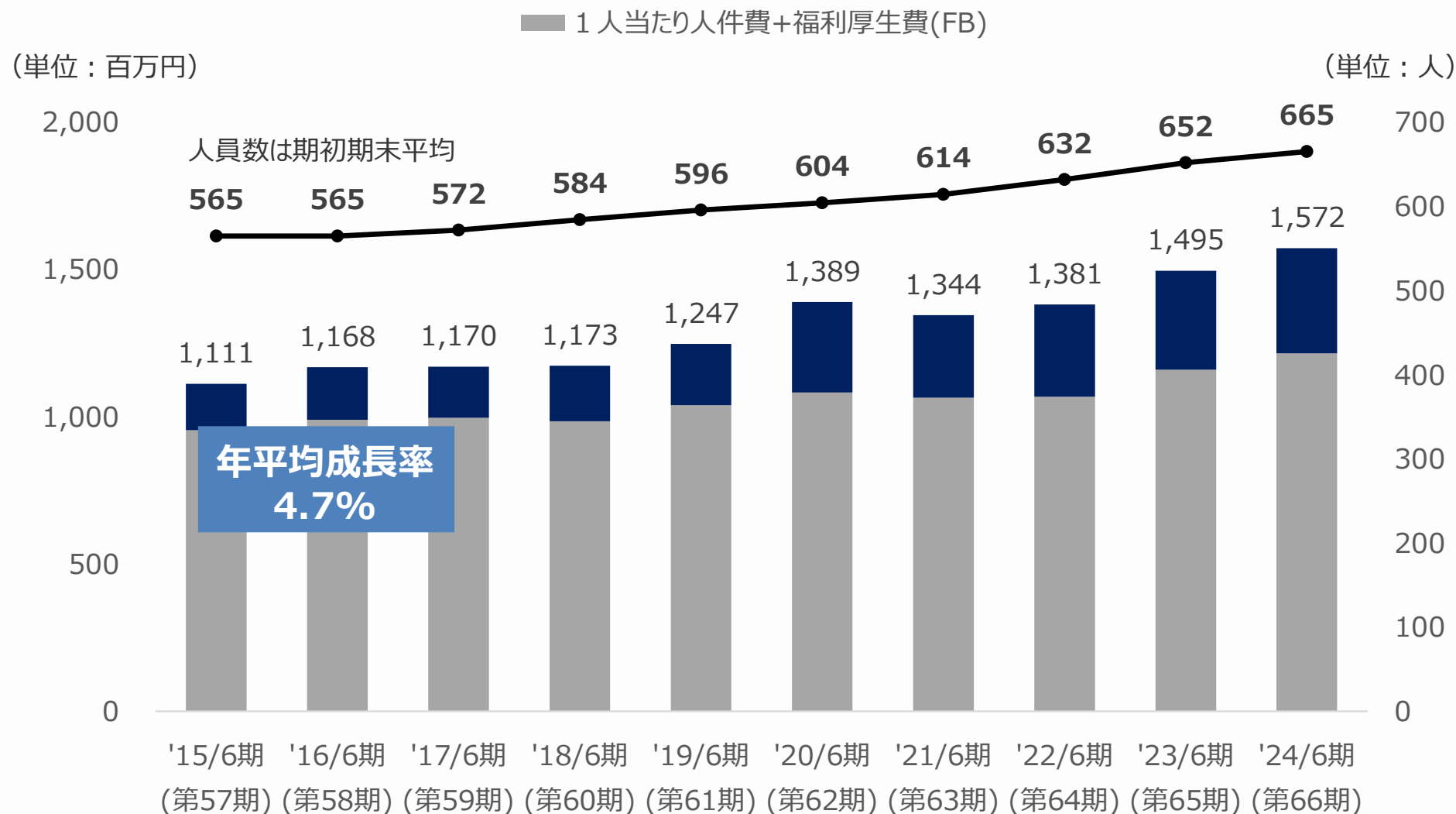
大和銀行融資 始まる

- ITバブルの崩壊 初値5,000円の株価が2年後には 351円へ
- 2000年代 品質不良プロジェクトの多発
 - 与信管理の甘さ パワーズ
 - ソフトウェア開発 不良化
 - 構造設計業務 外注管理の甘さ 約10億円の損害賠償金支払
- 2012年～
 - 創業家の株式ファンドへの売却と買い戻し
 - ESOP（所員持株制度）の導入
 - 所員持株会への加入率：約83%
 - 南悠商社8.9% メインバンク3.6%



着実に負債も減らし、自己資本も充実 100億円超えか？

人員増による影響を除いた場合の価値年平均成長率は4.7%



投資時株価の何倍？

2004年～20年間 10.3倍

2009年～15年間 8.0倍

2014年～10年間 4.9倍

2019年～5年間 2.2倍



株式長期取得によるパフォーマンス結果 年平均成長率

構造計画研究所 株価推移



	KKE	日経平均
20年間	12.4%	6.0%
15年間	14.9%	8.8%
10年間	17.3%	8.9%
5年間	16.9%	10.9%

- **知識集約型企业組織**ならではのあり方とは
 - 2019年9月 指名委員会等設置会社の導入
 - 現在 95社(プライム81社 スタンダード11社 グロース3社)
- **企業経営：ガバナンスと執行の分離**
 - 過去5年間の議論
 - より良いガバナンスとは何か
 - 企業は永続を前提とし、個々の人間には限りある時間
 - 次世代経営のガバナンスと執行はどうあるべきか
 - 経営者人才育成

- 企業統治がしっかりしている
 - 多様な業務へ対応した組織・グループ
 - 慮りのある人が集い、人々がそれぞれの人生を活躍できる場
-
- 工学知と情報技術を活用、導入支援する企業としては
 - 独立性
 - 多様性
 - 機動性
 - 透明性

- **既存ビジネス**の深化と拡張 伝統的な株式会社構造計画研究所
 - 高い収益性維持とサステイナブルな成長
- **新規ビジネス**の挑戦
 - 常に外部を利用した立ち上げ
 - 事業開発から独立した組織でのチャレンジ
- **人的資本の柔軟な活用**
 - KKEスマイルサポート 多様な働き方で、個性を活かす
 - PARA-SOL社 熊本から世界中につながるITサービス

- **投資管理会社**
 - NavVis、RemoteLock、各種ファンド投資
- **RemoteLock Japan**
- **システム開発専業会社？**
- **所員起業のスタートアップ？**

- **創業時の理念の尊重**

- アカデミアとの連携

- 東京工業大学からのスピンオフ

- サイエンスをエンジニアリングへ具現化

- 国外パートナーとの連携

- IBM1620導入、サンフランシスコ事務所開設

- 国内に留まらず、世界に目を向けよう

- スタートアップ起業との連携 ビジネスリスク低減を目指す

- **今後：新しいサービス形態への組織としての対応**

- 多様な人才の参画（特に非エンジニア職種）

- 相対ビジネスの推進とともにクラウドを活用したサービスの提供

- 子会社での多様なパートナー作り

業態

- 高収益相対 EC ビジネス
- プロダクツサービス
- クラウドサービス



工学知と情報技術の活用

- 産学連携による付加価値向上
- 海外スタートアップとの連携

創業時からの理念

- 勉強する楽しさ
- 週休二日制導入
- 女性エンジニアの採用

21世紀以降

- 総付加価値指標の導入
- フリンジベネフィットの活用
- 評価制度活用
- 多様な人才の参画
外国籍採用 キャリア採用

いつの場合も人が全てであり、
夢と志があつてこそであつた。
そのことさえ忘れなければ、
またいつの日か虹を見ることが
できる日が来るであろう。



著書『いつでも夢を』

【お問い合わせ先】

IR室

E-MAIL : `i r @ k k e - h d . c o . j p`
HP : `h t t p s : // w w w . k k e - h d . c o . j p`

Innovating for a Wise Future